

2. ブラジル政治情勢（12月の出来事）

【内政】

（１）上下両院議長の再選に関する最高裁判所の決定

6日、最高裁判所は、上下両院議長の連続再選は憲法により禁止されている旨決定。このことにより、アルコルンブレ上院議長とマイア下院議長は明年2月の議長選挙には出馬できなくなった。

（２）観光大臣の交代

9日、観光大臣がマルセロ・アルヴァロ・アントニオ氏からジルソン・マシヤド氏（伯観光公社総裁）に交代する旨、官報に掲載された。

（３）政府による汚職対策計画の発表

9日、政府は2020～2025年の短・中期的な行動計画を掲げた「汚職対策計画」を発表した。この計画は、汚職の防止、発見及び汚職に関与した者に対する責任追及のメカニズムを洗練させる措置を伴い、汚職対策に関する法律の遵守及び改善を促進することを目的としている。

（４）ボルソナード政権の政権支持率

13日に発表されたダッタ・フォーリャ社による世論調査では、政権支持率は、前回の同社による調査（8月）と同数値37%（同社の調査では、ボルソナード政権発足以来最高値）を維持した。

（５）義務的なワクチン接種に関する最高裁場所の決定

16～17日、最高裁判所にて、Covid-19ワクチン接種の義務性に関する審理が行われた。その結果、Covid-19ワクチンの義務的な摂取が合憲であり、接種を拒否する者には一定の制限（罰金等）を課すことが可能であることが確認された。一方、接種を強制することは不可能であると認められた。

【外交】

（１）伯・パラグアイ首脳会談

1日、ボルソナード大統領は、パラナ州フォス・ド・イグアス市において、ベニテス・パラグアイ大統領と首脳会談を行った。同会談において、ボルソナード大統領は、「伯、パラグアイ、パラナは完璧な婚姻関係にある。パラグアイは、隣国ではなく、兄弟国である。」と述べた。また、両首脳は、両国を結ぶ第二の橋の建設現場を視察した。

（２）アラウージョ外相のＥＵ・ラテンアメリカ・カリブ諸国外相会合への参加

14 日、アラウージョ外相は、ＥＵ・ラテンアメリカ・カリブ諸国外相テレビ会合に参加した。同会合では、パンデミックに対する闘い、デジタル化の形成、持続可能な経済、気候変動との闘い、生物多様性の保全のための協力について議論された。

（３）ボルソナロ大統領によるバイデン次期米大統領への祝意表明

15 日、ボルソナロ大統領は、自身の SNS にて、バイデン次期米大統領へ祝意を表明する公式メッセージを出した。メッセージの中で、ボルソナロ大統領は伯米同盟関係を構築し続ける用意ができている旨述べた。

（４）日伯防衛相・国防相テレビ会談及び防衛協力・交流に関する覚書署名式

15 日、岸防衛大臣とアゼヴェード国防大臣の間で日伯防衛相・国防相テレビ会談及び防衛協力・交流に関する覚書の署名式（オンライン形式）が行われた。会談では、PKO 分野における協力や新型コロナウイルス対処における協力等につき意見交換がなされた。その後、防衛協力に関する覚書が署名され、日伯の防衛関係者が緊密なコミュニケーションを維持するとともに、人道支援や災害対処の分野で引き続き日伯が防衛協力及び交流を推進していくことが確認された。

在ブラジル日本国大使館ニュース

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00284.html

（５）伯・南ア外相電話会談

18 日、アラウージョ外務大臣は、ナレディ・パンドール南アフリカ共和国・国際関係・協力大臣と電話会談を行った。両外相は、ポストパンデミックの経済回復、貿易、防衛、農業、環境について意見交換を行った。

（６）新型コロナウイルス感染拡大に伴う諸外国からの入国制限

（ア）11 日、伯政府は、外国人（国籍不問）の入国を制限する措置につき、7 日間延長する旨の政令第 615 号を公布した。

（イ）17 日、伯政府は、外国人（国籍不問）の入国制限する措置に関する政令第 630 号を公布した。これにより、入国制限措置の期間に関する記述が削除されたほか、12 月 30 日以降、渡伯便搭乗の際の陰性証明書及び旅行者健康状態申告書の提示義務が設けられた。

（ウ）23 日、伯政府は、外国人（国籍不問）の入国を制限する措置に関する政

令第 648 号を公布した。これにより、渡伯便搭乗の際の新型コロナウイルス感染症陰性証明書の詳細や英国からの便に関する制限が追加された。

3. トピック

(1) オズワルドクルス財団共催ウェビナー（在リオデジャネイロ総）

12 月 8 日（火）にリオデジャネイロ総領事館とオズワルドクルス財団の共催で、「日伯の新型コロナウイルスへの対応について」と題としたウェブセミナーを実施した。日本側スピーカーとして Meng Ling Moi 長崎大学准教授、オズワルドクルス財団から Marco Aurelio Krieger 副理事長が、同財団のコロナ禍の中で果たしている役割について講演を行った。（ウェビナーの視聴は[こちら](#)）

SEMINÁRIOS AVANÇADOS EM SAÚDE GLOBAL
E DIPLOMACIA DA SAÚDE "JOSÉ ROBERTO FERREIRA"

SEMINÁRIO EXTRA
O CENTRO DE RELAÇÕES INTERNACIONAIS
EM SAÚDE (CRIS) DA FIOCRUZ E O CONSULADO
DO JAPÃO NO RIO DE JANEIRO APRESENTAM
E CONVIDAM PARA O SEMINÁRIO

**Japão e Brasil
no combate
à COVID-19**

Estratégias de enfrentamento
da pandemia e desenvolvimento
de tecnologias para vacinas

8 DE DEZEMBRO
9H ÀS 10H

PALESTRANTES:

MENG LING MOI
PROFESSORA DO DEPT. DE MICROBIOLOGIA DO
INSTITUTO DE MEDICINA TROPICAL, UNI-
VERSIDADE DE NAGASAKI. MEMBRO DO
PAINEL DE ESPECIALISTAS NA REDE
GLOBAL DE LABORATÓRIOS COVID-19 DA
OIE. NO GRUPO DE TRABALHO SOBRE
REFINAMENTO DA COVID-19.

MARCO KRIEGER
VICE-PRESIDENTE DE PRODUÇÃO E
INOVAÇÃO EM SAÚDE DA FIOCRUZ.
PESQUISADOR TITULAR DA
FUNDAÇÃO OSWALDO CRUZ NA ÁREA
DE GENÉTICA EM PARASITOLOGIA
MOLECULAR PARA O DESENVOLVI-
MENTO DE TESTES DE DIAGNÓSTICO.

MODERADOR

LUIZ EDUARDO FONSECA
COORDENADOR ADJUNTO
DO CENTRO DE RELAÇÕES
INTERNACIONAIS DA FIOCRUZ

TRADUÇÃO SIMULTÂNEA

Ministério da Saúde
FIOCRUZ
Fundação Oswaldo Cruz
Presidência
Centro de Relações Internacionais em Saúde - CRIS

JAPÃO

(2) オンラインカレンダー展の開催（在リオデジャネイロ総）

12 月 1 日（火）から 1 月 31 日（日）まで、当館ホームページにてオンラインカレンダー展を開催している。全国カレンダー出版協同組合連合会から寄贈された 2021 年版の可憐一ダー 51 点を展示しており、日本の四季折々の風景、建築、着物、絵画、ペット等を題材にした様々なカレンダーをオンラインで楽しむことができる。

(HP :

https://www.rio.br.emb-japan.go.jp/itpr_pt/CalendarExpo_00001.html)

